



地域活性化の取組

◎企画政策課/秘書広報係
☎内線 221



地域活性化等に関する連携協定

「JAL x 垂水市」

日本航空株式会社（以下、「JAL」という。）と本市は、それぞれがもつ物的・人的・知的資源を有効に活用し、地域全体の活性化を図ること等を目的とした協定を、7月2日（金）に文化会館で締結しました。

JALと本市は、これまででもタイ・バンコクにある「トンロー日本市場」や福岡空港で市内の特産品の販売・PRなど連携した取組を行っており、現在も週2回、同市場へ本市の水産物が空輸され、人気商品となっております。

尾脇市長は「JALグループのネットワーク・知見を有効活用させていきたい」と主旨を述べられ、また、JAL九州・山口地区の平井登支配人は「国内外における人や物の循環・流動により垂水市を元気にしていき、人材育成や観光資源の開発にも取り組みたいです。未永いお付き合いをお願いします」と挨拶されました。

◎協定の主な内容

- 垂水市の「特産品・観光振興に関すること」
 - ・ 特産品の販路拡大・PR
 - ・ 道の駅・森の駅を活用した地域貢献活動
- 明日の垂水市を担う「人づくり」に関すること
 - ・ 空育（折り紙ヒコーキ教室、SDGs講座等）
 - ・ 「客室乗務員によるマナーレッスン」の実施
- その他垂水市の活性化に関すること
 - ・ ふるさと納税での連携への取組など



▲トンロー日本市場でのイベントの様子



▲講座の様子

◎令和3年度講師

- NPO 法人森人くらぶ
酒瀬川 牧 理事長
- (有)新和建設工業
篠原 基郷 代表取締役
- (有)田村水産
田村 洋平 常務取締役



▲様々な意見・アイデアが出されたグループワークの様子

鹿 児島国際大学との「地方創生の取組に関する協定」に基づく取組として、6月と7月に同大学で寄附講座が行われました。市内の企業家3名が講師となり、「これからの『働く』を考える」をテーマに、講義を行ったものです。

また、6月26日には、同大学生18名が来垂して、市内の観光施設等を巡った後、本市の活性化に向けて、さまざまなアイデアを提供してくれました。

この事業を通じ、地域の若者に「働く」ことを考え、垂水の魅力を知ってもらい、「就地」の拡大につなげてまいります。

※就地とは、本市の「周知」と「就職の地」として選んでほしいという二つの願いが込められた造語です。

◎支援体制の仕組み

第1層協議体

■構成団体

- ①市社会福祉協議会
- ②市民生委員協議会
- ③振興会長連絡協議会
- ④市老人クラブ連合会
- ⑤第1層生活支援コーディネーター
- ⑥各地区公民館長代理又は各地区第2層生活支援コーディネーター
- ⑦垂水市保健課

■主な役割

解決が難しい課題等を議論し支援する

第2層協議体

■構成団体

- ①各地区民生委員
 - ②ボランティア
- 主な役割
様々なニーズに対して実践的に解決を図る



▲地域支え愛（あい）会議の様子

高 齢者が安心して暮らせるために、地域で安心して暮らせるために、多様な主体による生活支援サービス体制を構築することを目的に、第1回生活支援体制整備事業第1層協議体地域支え愛（あい）会議を、7月5日（月）に市民館で開催しました。

この事業は、関係各団体を、市町村区域（第1層）と日常生活圏域（第2層）に配置して、それぞれの役割を果たしながら、定期的な情報共有や連携強化を図るものです。

本市はこの取組を推進し、高齢者への多面的な支援体制を充実してまいります。

「就地」拡大プロジェクト 垂水市地域若者

企画政策課政策推進係 ☎内線 245

生活支援体制整備事業 高齢者が安心して暮らせるために

保健課地域包括ケア係 ☎ 32-5111